

[miyamori_69]

活動タイトル	道立本別高校エシカル環境教育講座「食品ロスを考える」
実施日	2020年10月19日
場所	本別高校家庭科室（本別町）
対象数	33人
内容	<p>【講座のねらい】</p> <ol style="list-style-type: none">①身近な食べ物を通して、食材が手元に届くまでにかかっている間接エネルギーを認識する。②エネルギーをかけて作った食材を大量に廃棄している日本の食の現状を知る。③持続可能な社会を形成していくために消費者ができる行動と企業、行政ができる取り組みを考え、社会の一員として消費者が行動することの重要性を理解する。 <p>【講座の内容】</p> <p>最初に「エシカル消費」の言葉の意味と、10月が食品ロス削減月間であること、食料の自給率が日本は低いことなどについてスライドを使って説明。安いハンバーガーの食材が世界中から運ばれてきていることを実感する目的で、世界白地図に輸入国と日本にシールを貼って線で結び、その距離と輸入食料の輸送に伴うCO₂排出量を確認。また、季節外れの食材や、機械化による農産物の間接エネルギーを認識し、家庭やお店からの食品ロスがどうして出たのか、消費期限と賞味期限、3分の1ルールなどについて、テキストの空欄に入る言葉を生徒に記入してもらいながら解説。</p> <p>4人グループで、自分たち消費者ができることを中心にランキングシートと付箋を使ったディスカッションの時間を設け、その中で最も重要なことを各グループから発表。</p> <p>最後に、消費者庁の食品ロス削減リーフレットを説明し、家庭でも食品ロスについて話し合ってもらおうよう促す。</p> <p>全員がマスク着用、各テーブルには学校特注の亚克力板を設置して実施。テキストは、NACS「地球のためのエシカルライフ」。北海道消費者協会学校訪問講座事業により派遣。</p>
実施写真等	